



12/25日からスタートした冬期講座



1/10 1、2年生道コン お土産や差入を頂きました



冬休み中もまじめに勉強する高校生



冬期講座 帰りも残って勉強するので昼食を



1/20 菅原君が雪かきを手伝ってくれました



勉強中！



睡眠中！



新学期の授業風景



第2回小中高合同の漢字テスト



入試倍率についての解説



道コン結果を踏まえての面談



江南の富岡さんが入試直前ゼミのテキストづくりを手伝ってくれた



専門学校で言語聴覚士の勉強をし、江南出身の井沼さん



5年生に進級が決まれば就職が決まる高専機械工学の田村君



高専を卒業して10年ぶりのNECフィールドイングの渋谷君

★入試まであと30日★
27日に出願状況が発表になりました。予想に反して湖陵高校の倍率が近年見たことのないような倍率で、理数科で25人、普通科で26人、合わせて51人の不合格が出ます。私学や高専に抜ける数と志望校の変更数を合わせても30名近くは不合格となります。今年の中3生は、塾内で見ても学力の高い生徒が多いことから、市内全体でも湖陵高校志望の生徒の多いことはうなずけます。

一方、江南高校は24人、北陽高校は12人の定員オーバーと例年と比べてかなり倍率が低くなっています。逆に少数激戦りなかもしれません。気を抜くことは出来ません。

毎年、言っていますが一人でも定員オーバーだった

た、落ちるのは自分だと思いなさいと。実際、昨年北陽高校でFランク191点で不合格になっている生徒がいます。入試は試験を受けて合格発表を見るまでは安心できません。

3年生は、2月はほぼ毎日授業があり大変ですが、残り30日です。20点以上のアップが可能です。体調管理（風邪やインフルエンザ）に注意して頑張りましょう。

入試まで30日、この時期、受験生は誰でも不安やプレッシャーを感じます。それが今までに経験したことのない「15の春」です。この経験が次のステップに繋がります。

また、3年生以外の生徒も学年末は通知表の評価の確定する大事な学期です。高校入試では、この通知表の評価点が内申点(A~M)になり、学力点と

合わせて合否が決定します。内申点の高い方が入試には有利です。学力点を上げることは出来ませんが、過去の通知表の評価を上げることは出来ませんので、期末テストに向けてしっかり取り組みましょう。

6年生の塾生はすでに中学校の数学と英語を始めています。また、中3年生も入試が終わった3月も高校の授業への準備とこれまでの緊張感を持続させるために高校スタートダッシュの授業があります。中1、高1は、それぞれ中学校、高校の勉強の基礎となる大事な学年です。何でもそうですがスタートが重要なのです。

新中1生は志望高校を、新高1生は進路(文系・理系、国公立・私学、専門学校など)を出来るだけ早いうちに決めましょう。

29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月
	★入試直前ゼミ⑧ 休塾★1000分特講	★入試直前ゼミ⑦	■美原中定期テスト(27)					※高専入試※	★入試直前ゼミ⑥				※武修館入試※		★入試直前ゼミ⑤	休塾	●推薦入学面接日	※中3生は授業あり※休塾				★入試直前ゼミ③	休塾	★入試直前ゼミ②		●出願変更締切	■学力テスト	

携帯電話の教習所持禁止
携帯電話の持込は禁止
連絡は塾の電話を使用して下さい。

2月の予定

1000分特講と入試直前ゼミ
中1、2年生は期末テスト(美原中を除いて3月)のための1000分特講を27日と28日の2日間実施します。各学校ごとのテスト範囲の問題を徹底して解くものです。学期末の成績は内申点に影響しますので、しっかり取り組みことです。後日、参加申し込み書を配布します。

各学校のテスト範囲が出たら必ず塾に提出して下さい。

中3生は月曜日から土曜日まで、ほぼ毎日授業があり、他県の公立高校入試過去問題にも取り組んでいます。さらに、31日から入試直前ゼミ(全て板書授業による解説)として土曜の午後、日曜で計8回の受験対応の授業をスタートしています。

入試が終わっても気を抜かず、高校スタートダッシュで中学3年間を締めくくりましょう！

『釧路市人口減止まらず！』

住民基本台帳 12月末で17万6576人

釧路市の住民基本台帳によると、昨年12月末現在の人口は17万6576人と、この5年間で約8,400人減るなど「人口減に歯止めのかからない状態が続いている。自然減と社会減の状態は変わらないが、転入者がここ2年間に比べ増加に転じたことが好材料となっている。昨年は阿寒地区で5000人を、音別地区で2000人をそれぞれ初めて割り込んでおり、今年度策定した「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」などを基にした、若者が住みやすいまちづくりなどが求められる。

市のまとめによると、昨年1年間の出生は1128人（男性588人、女性540人）。死亡は2125人（同1122人、同1003人）と、死亡が出生を上回る自然減の状態。転入は6439人（道内4892人、道外1547人）。転出は7213人（同5279人、同1934人）と、こちらも転出が転入より多い社会減の状況は変わらない。

2006年と比較すると、出生は1521人から393人減少したが、死亡は1844人から281人増加。転入は7596人から1157人減り、転出は9287人から2074人少なくなった。

ただ、転入者(12月末時点)は12年6505人、13年6335人、14年6302人など年々減少していたが、昨年は6400人台に回復したことが特筆すべき特徴。増加要因ははっきりしないが、景気の回復により企業活動が活発化したため、転勤が増えたとの見方もある。

各年の9月末現在の人口の推移では、旧阿寒町は1950年代に2万1000人台、旧音別町では同年代に1万人台をそれぞれ記録。旧釧路市は70年～80年代に21万人台が続くなどしていた。しかし、70年代後半から出生が減少し、死亡が増加し、2000年代前半から自然減の状態に。転入・転出も1970年代からそれぞれ減少し、75年を除けば社会減に陥った。2006年から9年間で約1万6000人が減ったことになる。

市は、人口減少社会に立ち向かうとして昨年12月に釧路版総合戦略を決定。経済基盤の強化などを通じて親になる世代の確保が必要とし、「若者、女性、住み続けたい、来たい・住みたいをキーワードとして各種施策の推進を図りたい」（蝦名大也市長）としている。人口減少傾向は今後も続き、決定的な打開策はないが、さまざまな努力により、その落ち込みを食い止める努力が必要になる。

釧路新聞 1月22日

『釧路高専 千葉工大と協定！』

来春にも 学生受け入れや共同研究

釧路工業高等専門学校（岸徳光校長）は21日、千葉工業大学（小宮二仁学長）と教育・研究活動分野で包括的な連携に関する協定を締結した。工科系人材の育成が目的。学生の受け入れなど7項目で協力し、来春にも釧路高専から千葉工大への編入体制が整う。釧路高専が道外の大学と包括協定を結ぶのは初めて。



千葉工大は昨年からの全国の高専と協定を結んでおり、釧路高専は5校目。同大学は日本の私立工業大学の中で最も長い歴史を持ち、地方の優秀な人材の確保に力を入れている。同大学が開発した災害対応ロボットは、福島第1原子力発電所の事故で、国産ロボットとして初めて原発建物内に投入された実績を持つ。

今回の協定締結で教職員や研究者、学生の相互交流を進めるほか、共同研究、研究施設の共同利用などが可能となる。編入学した学生は、高専校長の推薦があれば、学費を半額免除するメリットもある。

この日は釧路高専で締結式が行われ、岸校長は「国際的に活躍できる人材育成が使命。研究の活性化や施設の共同利用などで、ウィンウィンの関係を構築できる」と話した。小宮学長は「北海道の出身者が多い大学。交流機会が増えることに期待している。将来的には研究者として北海道に戻って活躍して欲しい、地域貢献にもつながれば」と述べた。

釧路新聞 1月22日

『私立の学習費は公立の3.4倍 幼稚園～高校で1770万円』

子供1人が幼稚園から高校までの15年間、すべて私立に通うと、保護者が支払う学習費の総額は1770万円に上り、すべて公立の場合の約3.4倍になることが24日、文部科学省の2014年度「子供の学習費調査」で分かった。両者の差は過去最大の1247万円。私立の授業料の引き上げなどが要因とみられる。

公立の学習費は幼稚園63万円▽小学校192万円▽中学144万円▽高校123万円。私立は幼稚園149万円▽小学校922万円▽中学402万円▽高校297万円——となった。それぞれ各学年の平均額を足して試算した。

公立の中学と私立の小中が過去最高。公立中は「補助学習費」（学習費のうち塾

や参考書に充てる費用）が平均24万6千円で、前回の12年度調査より2万2千円増加し、中学3年では38万円に上った。月謝の値上がりなどが影響したとみられ、学習塾の費用は初めて20万円を超えた。

すべて公立に通った場合の学習費は523万円となり、前回調査より23万円増えた。すべて私立の場合は93万円増えた。日本学生支援機構がまとめた大学の学費は私立が平均で年131万9700円、国立は年67万3700円。4年分をそれぞれ足すと、すべて私立とすべて公立の差は約1500万円になる。

また、家庭で文庫本や絵本などに使う図書費は公立中学が2834円で前回調査から1265円減、公立小学校が2586円で943円減となるなど、私立幼稚園以外で過去最低となった。文科省担当者は「インターネットで情報収集する子供が増えているのでは」と話している。

『家庭学習、母親の半数が悩む』

公文教育研究会が2015年8月、小学1～3年生の子供がいる共働き家庭の母親1千人にインターネットで調査したところ、半数超の53%が家庭学習について「とても悩んでいる」か「少し悩んでいる」とした。

家庭学習がうまくいっていないと思う状態を尋ねると、最も多かったのは「声をかけてもだらだらとし、行動にすぐ移さない」で53%。以下「いちいち指図しないと動かない」（36%）、「いつも子供を怒ってしまう」（29%）などが続いた。

家庭学習の平均時間は平日1日あたり32分。内容（複数回答）は「学校の宿題」が94%で際だって多く、「通信教育」が31%、ドリルなどの「親が与える課題」が21%だった。

つ・む・ぎNEWS 1月6日

『小学生の視力、1.0未満30.9%と過去最悪』

スマホなど原因か

子供たちの視力低下が止まらない。文部科学省がまとめた2015年度の学校保健統計調査（速報）によると、裸眼視力が「1.0未満」の小学生の割合は30.9%と過去最高になった。幼稚園児も増加の傾向にあり、中高生は半数を超えている。専門家はスマートフォン（スマホ）や携帯ゲーム機などの長時間利用が視力の低下の一因とみている。

全国の5～17歳の約335万人（全体の24.2%）を抽出して調査した。

1.0未満の小学生の割合は、調査を始めた1979年度は17.9%だったが、その後は増え続け、12年度からは毎年30%を上回っている。幼稚園児も79年度の16.4%から15年度は26.8%に。ピークの08年度（28.9%）は下回ったが、依然として高水準だ。中学生は54.0%、高校生は63.7%だった。

日本小児眼科学会の前理事長で川崎医療福祉大の田淵昭雄名誉教授（小児眼科）は「幼いころからスマホなどの画面を長時間近くで見ていることが原因。家庭内でルールを作ったり、なるべく外で遊ばせたりして、目を酷使させないでほしい」と指摘する。

一方、虫歯のある子供の割合は改善傾向が続く。高校生は52.4%で過去最低を更新。幼稚園児は36.2%、小学生50.7%、中学生40.4%で、いずれも前年度より減少した。70年ごろは90%以上の子供に虫歯があったが、学校での歯磨き指導や家庭での習慣づけが効果をあげているという。年齢別で虫歯のある割合が最も高かったのは9歳（57.6%）、最も低かったのは5歳（36.2%）だった。

文科省は15年度を最後に、学校保健統計調査の必須の検査項目から座高と寄生虫卵を外す。座高検査は子供の発育状態を調べる目的ではあまり活用されていないためという。寄生虫卵は15年度の小学生の保有者が過去最低の0.12%となるなど、保有者が下げ止まっている。同省は教育

第2回小・中・高合同漢字テスト

順位	得点	氏名	学校・学年
1	73	福士 千悠	附属中3
2	72	牛木 乙帆	附属中3
3	69	諫山 莉奈	附属中3
3	69	田村 舞雪	江南高2
5	68	松岡 佑弥	富原中2
5	68	山上 彩夏	鳥取西中2
5	68	成瀬 京	富原中3
8	66	富岡 菜紘	江南高1
8	66	大坪 由依	江南高2
10	65	福士 太郎	附属小6
11	64	田中 悠介	共栄中3
12	63	稚野 千夏	桜が丘中2
12	63	坂上 武	美原中3
12	63	姉崎 倭子	江南高1
15	62	中野 凱斗	景雲中
15	62	長尾 真白	青陵中3
15	62	高橋 沙和	武修館高1
18	61	菅原 皐誠	富原小6
18	61	藤田 勇人	富原中1
18	61	富岡 隼	富原中2

つ・む・ぎNEWS 1月26日

『第2回の漢字テストの結果』

小・中・高合同の第2回目のテストを行いました。小6の漢字ですが、語彙力や文章力も必要なので簡単ではありませんが、漢字力、国語力が学力をあらわす結果となっています。今回は77点満点で附属中3年の福士さんが73点で1位でした。

また、6年生の福士君と菅原君が前回同様に20位内に入っています。第3回も予定していますので、毎日、漢字の練習をしっかりとやって下さい。